

高尾山 599m～小仏城山 670m：雪と富嶽を求めて

齊藤 整紀

- 2019年2月10日（日） 晴れ
- メンバー 齊藤整（CL）、さち子（妻）
- コースタイム

高尾山口駅 9:30→ケーブル清滝駅→ケーブル山頂駅 10:30～45→薬王院 11:20→高尾山山頂（昼食）11:50～12:30→城山 13:40～14:15→千木良 15:30→17:00 相模湖駅

週末3連休の天気予報が、雪、晴れ、不明と出た時点で、晴れの10日は雪見山行と決めた。できれば富士山も見たいものだ。去年の宝登山同様、今回も妻と同伴であり、高尾山にした。百名山で3回以上登った内2000m以上が19座ある私、実は高尾山は40年ぶり2度目である。

葛西は結構雪が多かったが、電車が山に向かって高尾に着いても雪は以外に少ない。足の悪い妻とケーブル清滝駅で別れ、1時間後にケーブル山頂駅で落ち合うことに。舗道の坂道は何となく記憶にあるが、一息でケーブル駅や十一丁目茶屋のあるエリアに着き、お茶の妻を呼ぶ。

男坂の石段を上がって、赤い灯籠の並ぶ薬王院の参道は、「ぶらタモリ」で左の海洋性の広葉樹と右の山の広葉樹のテーマが放映された場所。昔の記憶よりテレビ映像などで見慣れた山門は雪のためか潜れず、迂回したが、意外に小さい。様々なお堂で5回程お賽銭を投じたが、本堂の般若理趣経の読経は身に染みた。



599m 高尾山大見晴台は広さが際立ち、皆が丁度椅子やベンチ等に腰掛けられるレベルで、トイレもスイスイ！西側に多くが集まり富嶽を楽しむ。青空が弱いため写真は輪郭がボケる。テルモスで淹れた紅茶でランチが美味しい。形の良い大山、大室山など富嶽の脇役も健在ながら、街の眺めもなかなか。ここよりも高いスカイツリーは恥ずかし気に、時々雲に身を隠す。



城山方面へは西の階段を下りる。少し雪の隠れた箇所気をつけ慎重に歩を進める。桜の並木などを通る気持ちの良いアップダウンである。やがてアンテナのある城山に着く。高尾山程ではないが、かなり広い休憩スペースがあり、茶店も2軒ある。山頂標識と天狗の木彫の間に立ち、記念写真を撮る者が多い。

午後になり、日差しが弱まって寒くなった頃相模湖へ下山開始。今までの高尾山道から普通のハイク径に変わる。妻にはきつい様だ。出来るだけ手助けして、ようやく千木良の売店に着く。お勧めの干し柿を買った。しかし、そこからが大変！地図の案内に従い、弁天橋経由30分にチャレンジ！しかし悪路に次ぐ悪路の急斜面の連続で、足の悪い妻は悲鳴を挙げる。結局1時間半を要した。国道の迂回ルートやバス利用に機転が及ばない自分を悔いた。（了）